

『2023年度ヘリテージ・アーキテクト養成講座シラバス』

【講義】

保存再生の枠組

歴史的建築物の保存再生を巡る近年の課題と「ヘリテージ・アーキテクト」に実務家として求められている能力について学ぶ。授業の最後に教員と受講生がグループディスカッションを行う。

1.5時間 清水重敦（京都工芸繊維大学）

実践的な方法による授業：双方向

保存再生の理念と方法

歴史的建築物の保存再生の実務に携わる際に必要な理念的基盤、建築保存の基本原則とあり方について学ぶ。授業の最後に教員と受講生がグループディスカッションを行う。

1.5時間 マルティネス・アレハンドロ（京都工芸繊維大学）

実践的な方法による授業：双方向

保存再生のデザインと方法

歴史的建築物の修理設計および活用計画に建築家として取り組む際に必要なデザイン能力について学ぶ。授業の最後に教員と受講生がグループディスカッションを行う。

1.5時間 花田佳明（京都工芸繊維大学）

実践的な方法による授業：双方向

保存再生のデザインと評価

建築の実務家の観点から歴史的建築物の保存再生の実例を分析し、その評価の方法について学ぶ。授業の最後に教員と受講生がグループディスカッションを行う。

1.5時間 笠原一人（京都工芸繊維大学）

実践的な方法による授業：双方向

プロジェクト/実測調査

既存の歴史的建築物を対象とし、その修理設計および活用計画を作成するために必要な調査とその実施方法について学ぶ。授業の最後に教員と受講生がグループディスカッションを行う。

1.5時間 津村泰範（長岡造形大学）

実践的な方法による授業：双方向

保存再生と不動産

不動産の運営および再生事業を行ってきた企業の実務家から、歴史的建築物の保存再生と不動産の運営について学ぶ。授業の最後に教員と受講生がグループディスカッションを行う。

1.5 時間 末村巧（マツシティ／みんなの不動産）

実践的な方法による授業：企業等・双方向・実務家

保存再生と不動産

不動産の運営および再生事業を行ってきた企業の実務家から、歴史的建築物の保存再生と不動産の運営について学ぶ。授業の最後に教員と受講生がグループディスカッションを行う。

1.5 時間 高橋寿太郎（創造系不動産株式会社）

実践的な方法による授業：双方向・実務家

保存再生と法規

歴史的建築物の保存再生を行ってきた企業の実務家から、保存再生に関連する法規と規定について学ぶ。授業の最後に教員と受講生がグループディスカッションを行う。

1.5 時間 佐久間悠（建築再構企画）

実践的な方法による授業：双方向・実務家

保存再生と都市計画

歴史的建築物の保存再生を行ってきた企業の実務家から、都市計画において保存と開発を両立させる方法について学ぶ。授業の最後に教員と受講生がグループディスカッションを行う。

1.5 時間 黒木正郎（日本郵政施設部）

実践的な方法による授業：双方向・実務家

マネジメントと保存再生

歴史的建築物の保存再生を行ってきた企業の実務家から、保存再生事業に必要な不動産の管理・運営の技術、合意結成のプロセス、資金計画について学ぶ。授業の最後に教員と受講生がグループディスカッションを行う。

1.5 時間 田村誠邦（株式会社アークブレイン）

実践的な方法による授業：双方向・実務家

保存再生と施工・技術

歴史的建築物の保存再生を行ってきた企業の実務家から、保存再生事業のフレームワークおよび実現フローについて、事例を通して学ぶ。授業の最後に教員と受講生がグループディスカッションを行う。

1.5 時間 中嶋徹（竹中工務店設計本部）

実践的な方法による授業：双方向・実務家

保存再生と歴史調査

歴史的建築物の保存再生の際に行われる実測調査、歴史的資料の調査、技術調査など各種の調査の意義と具体的な実施方法について、保存再生事業を実施してきた企業の実務家から学ぶ。授業の最後に教員と受講生がグループディスカッションを行う。

1.5 時間 平井直樹（清水建設技術研究所）

実践的な方法による授業：双方向・実務家

文化財建造物の耐震補強

歴史的建築物の耐震補強の基本的な考え方と具体的な技術について、実務に携わってきた構造の専門家から学ぶ。授業の最後に教員と受講生がグループディスカッションを行う。

1.5 時間 富永善啓（文化財構造計画）

実践的な方法による授業：企業等・双方向・実務家

構造家 実施例

歴史的建築物の保存再生の際に行われる構造補強の方法とあり方について、実務に携わってきた建築構造の専門家から学ぶ。授業の最後に教員と受講生がグループディスカッションを行う。

1.5 時間 満田衛資（京都工芸繊維大学）

実践的な方法による授業：双方向・実務家

建築家 実施例（京都市美術館）

実施例の分析を通して、歴史的建築物の保存再生の実務に携わってきた建築家から、ヘリテージ・アーキテクトの職能の実態について学ぶ。授業の最後に教員と受講生がグループディスカッションを行う。

1.5 時間 青木淳（AS）

実践的な方法による授業：双方向・実務家

保存再生のデザインと実務

歴史的建築物の保存再生の実務に携わってきた建築家から、ヘリテージ・アーキテクトに求められている能力と役割について学ぶ。授業の最後に教員と受講生がグループディスカッションを行う。

1.5 時間 田原幸夫（京都工芸繊維大学）

実践的な方法による授業：双方向・実務家

建築家 実施例

実施例の分析を通して、歴史的建築物の保存再生の実務に携わってきた建築家から、ヘリテージ・アーキテクトの職能の実態について学ぶ。授業の最後に教員と受講生がグループディスカッションを行う。

1.5 時間 中山利恵（京都工芸繊維大学）

実践的な方法による授業：双方向・実務家

建築家 実施例

実施例の分析を通して、歴史的建築物の保存再生の実務に携わってきた建築家から、ヘリテージ・アーキテクトの職能の実態について学ぶ。授業の最後に教員と受講生がグループディスカッションを行う。

1.5 時間 平井充（メグロ建築研究所）

実践的な方法による授業：企業等・双方向・実務家

【見学会】

見学会①

歴史的建築物の保存再生の工事現場等を見学し、設計担当者からその修理設計および活用計画のプロセス、およびその実施のプロセスについて学ぶ。授業の最後に教員と受講生がグループディスカッションを行う。

2.0 時間 魚谷繁礼（京都工芸繊維大学）

実践的な方法による授業：双方向・実務家

見学会②

歴史的建築物の保存再生の工事現場等を見学し、設計担当者からその修理設計および活用計画のプロセス、およびその実施のプロセスについて学ぶ。授業の最後に教員と受講生がグループディスカッションを行う。

1.5 時間 未定

実践的な方法による授業：双方向・実務家

【プロジェクト】

見学会

京都市内の現存する歴史的建築物を3物件設定し、プロジェクト実測調査、講評会①～④、最終講評会の為のプロジェクト見学会を行う。授業の最後に教員と受講生がグループディスカッションを行う。

4.0時間 清水重敦（京都工芸繊維大学）、花田佳明（京都工芸繊維大学）、笠原一人（京都工芸繊維大学）、マルティネス・アレハンドロ（京都工芸繊維大学）

実践的な方法による授業：双方向・実務家

実測調査

既存の歴史的建築物を対象とし、その修理設計および活用計画を作成するために必要な調査とその実施方法について、現地で実務家の指導を受けながら演習を通して学ぶ。授業の最後に教員と受講生がグループディスカッションを行う。

4.0時間 清水重敦（京都工芸繊維大学）、花田佳明（京都工芸繊維大学）、田原幸夫（京都工芸繊維大学）、笠原一人（京都工芸繊維大学）、マルティネス・アレハンドロ（京都工芸繊維大学）、津村泰範（長岡造形大学）

実践的な方法による授業：双方向・実務家・実地

講評会①周辺調査・プログラム提案

既存の歴史的建築物を対象とし、建築の実務家の講評を受けながら、周辺調査・プログラム提案を中心に、修理設計および活用計画の提案を作成する。プロジェクト班毎の発表ならびに授業の最後に教員と受講生がグループディスカッションを行う。

4.5時間 花田佳明（京都工芸繊維大学）、田村誠邦（株式会社アークブレイン）、長坂大（京都工芸繊維大学）

実践的な方法による授業：双方向・実務家

講評会②歴史・構造評価

既存の歴史的建築物を対象とし、建築の実務家の講評を受けながら、歴史・構造評価を中心に、修理設計および活用計画の提案を作成する。プロジェクト班毎の発表ならびに授業の最後に教員と受講生がグループディスカッションを行う。

4.5時間 花田佳明（京都工芸繊維大学）、田原幸夫（京都工芸繊維大学）、満田衛資（京都工芸繊維大学）

実践的な方法による授業：双方向・実務家

講評会③デザイン・設計提案

既存の歴史的建築物を対象とし、建築の実務家の講評を受けながら、デザイン・設計提案を中心に修理設計および活用計画の提案を作成する。プロジェクト班毎の発表ならびに授業の最後に教員と受講生がグループディスカッションを行う。

4.5 時間 花田佳明（京都工芸繊維大学）、田原幸夫（京都工芸繊維大学）、青木淳（AS）
実践的な方法による授業：双方向・実務家

講評会④エスキース検討会

既存の歴史的建築物を対象とし、建築の実務家の講評を受けながら、講評会①～③の講評内容をふまえ、修理設計および活用計画の提案を作成する。プロジェクト班毎の発表ならびに授業の最後に教員と受講生がグループディスカッションを行う。

4.0 時間 花田佳明（京都工芸繊維大学）、田原幸夫（京都工芸繊維大学）
実践的な方法による授業：双方向・実務家

最終講評会

講評会①～④の過程で作成した歴史的建築物の修理設計・活用計画の提案を建築図面や模型などを使用して発表し、実務家を含む建築保存再生の専門家より講評を受ける。授業の最後に教員と受講生がグループディスカッションを行う。

4.5 時間 花田佳明（京都工芸繊維大学）、田原幸夫（京都工芸繊維大学）、長坂大（京都工芸繊維大学）
実践的な方法による授業：双方向・実務家